

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 テイツー

コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 片山 靖浩

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日

TEL 03-5408-5532

平成22年11月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	18,096	△5.0	329	△49.7	313	△49.1	158	△37.7
22年2月期第2四半期	19,047	—	656	—	615	—	253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	305.75	—
22年2月期第2四半期	506.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年2月期第2四半期	11,004	—	5,383	—	47.9	10,181.99
22年2月期	11,335	—	5,318	—	46.0	10,048.21

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 5,271百万円 22年2月期 5,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	130.00	—	170.00	300.00
23年2月期	—	150.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	150.00	300.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	0.6	1,050	△13.0	1,000	△11.1	500	△32.6	965.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期2Q 551,400株 22年2月期 551,400株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 33,652株 22年2月期 32,926株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期2Q 517,766株 22年2月期2Q 501,823株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景況判断や個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、本格的な景気回復には至っておらず、生活防衛意識の高まりにより個人消費は依然として厳しい状況が続いております。当社グループの属する小売サービス業につきましても、雇用情勢の悪化や個人所得の伸び悩みなど、依然として厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は180億9千6百万円（前年同期比5.0%減）、連結営業利益は3億2千9百万円（前年同期比49.7%減）、連結経常利益は3億1千3百万円（前年同期比49.1%減）、連結四半期純利益は、1億5千8百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

【古本市場事業の概況】

古本市場事業におきましては、一部の店舗において大規模な店舗改装を行うなど店舗競争力の強化に努めてまいりました。また、新規出店といたしまして、古本市場名谷駅前店（兵庫県）、古本市場庄内店（大阪府）の出店を行いました。しかしながら、リサイクル品の売上が前年同期に及ばなかったことに加え、新品ゲームの販売が好調であった前年同期の反動等により、当第2四半期連結累計期間における古本市場事業の売上高は165億6千4百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は7億7千3百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

【アイ・カフェ事業の概況】

アイ・カフェ事業におきましては、有料コンテンツの料金を店舗利用料と一緒に支払うことができるネットカフェ決済システム「Chariot（チャリオット）」を直営店全店に導入したほか、新たなコミュニケーションサービスを提供する「USTREAM®スタジオ アキバ」をアイ・カフェAKIBA PLACE店内に開設するなど顧客サービスの強化に努めました。連結子会社であるインターピア株式会社におきましては、店舗運営ソリューション関連事業の既存店PC入替等に取り組みました。この結果、当第2四半期連結累計期間におけるアイ・カフェ事業の売上高は、13億2千4百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は5千4百万円（前年同期比52.7%増）と黒字にて推移いたしました。

【EC事業の概況】

EC事業におきましては、新品ゲームの予約でポイント2倍還元や期間限定の特価販売など各種販促活動の実施などによる売上拡大を図ったほか、マーケットプレイスにおける販売強化に努めてまいりました。こうした取り組みにより当第2四半期連結累計期間におけるEC事業の売上高は、2億3千9百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は1千万円（前年同期は営業損失1千3百万円）と黒字転換いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金、商品の減少等により、前連結会計年度末と比べて3億3千1百万円減少し、110億4百万円となりました。負債は、主に長期借入金が増加した一方で、仕入債務や短期借入金の減少により、前連結会計年度末と比べて3億9千5百万円減少し、56億2千万円となりました。純資産は、配当金の支払があった一方で、四半期累計期間の純利益の計上により、前連結会計年度末と比べて6千4百万円増加し、53億8千3百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.9%となり、前連結会計年度末と比較して1.9%上昇いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して1億8千4百万円減少し、8億3千2百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、3億1千1百万円の収入となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益3億1千6百万円、減価償却費3億円、たな卸資産の減少5千7百万円等であり、主な支出要因は、仕入債務の減少1億3千3百万円、法人税等の支払額8千6百万円、利息の支払額2千8百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2億2百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億6百万円、無形固定資産の取得による支出1億4百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、2億9千2百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入れによる収入10億円があった一方で、短期借入金の純減少額6億円、長期借入金の返済による支出4億8千3百万円、リース債務の返済による支出1億1千6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益は概ね計画通りに推移いたしました。従いまして平成23年2月期の連結売上高は、420億円(前期比0.6%増)、連結営業利益は10億5千万円(前期比13.0%減)連結経常利益は10億円(前期比11.1%減)、連結当期純利益は5億円(前期比32.6%減)を見込んでおり、平成22年4月19日付の当社「平成22年2月期決算短信」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく判断並びに不確定要素を含む見通しを前提としております。従いまして実際の実績等は業況の変化等により、上記予測と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税調等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	915,727	1,099,745
売掛金	342,492	345,930
商品	3,607,657	3,660,633
その他	728,985	674,973
貸倒引当金	△370	△478
流動資産合計	5,594,492	5,780,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,159,777	1,191,759
その他(純額)	963,001	1,030,581
有形固定資産合計	2,122,779	2,222,340
無形固定資産		
	316,037	340,296
投資その他の資産		
差入保証金	1,588,483	1,551,864
その他	1,384,229	1,453,891
貸倒引当金	△2,014	△13,929
投資その他の資産合計	2,970,698	2,991,827
固定資産合計	5,409,515	5,554,464
資産合計	11,004,008	11,335,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,298	995,379
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	892,203	867,832
未払法人税等	176,229	115,677
賞与引当金	85,571	112,363
ポイント引当金	266,600	277,855
その他	831,947	997,097
流動負債合計	3,114,850	3,966,206
固定負債		
長期借入金	1,681,732	1,189,533
退職給付引当金	210,904	196,803
役員退職慰労引当金	155,562	145,092
その他	457,584	518,739
固定負債合計	2,505,784	2,050,169
負債合計	5,620,634	6,016,375

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,239,213	3,169,049
自己株式	△249,199	△244,662
株主資本合計	5,275,318	5,209,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,458	△798
為替換算調整勘定	843	843
評価・換算差額等合計	△3,615	44
新株予約権	28,714	27,654
少数株主持分	82,955	81,505
純資産合計	5,383,373	5,318,894
負債純資産合計	11,004,008	11,335,269

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	19,047,545	18,096,116
売上原価	13,747,259	13,143,545
売上総利益	5,300,285	4,952,571
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	154,966	174,852
パート・アルバイト給与	575,927	601,071
従業員給料及び賞与	823,696	828,794
賞与引当金繰入額	105,466	78,873
役員退職慰労引当金繰入額	5,607	10,974
退職給付費用	15,513	18,025
賃借料	1,009,839	997,818
減価償却費	270,771	269,938
その他	1,682,243	1,642,425
販売費及び一般管理費合計	4,644,031	4,622,773
営業利益	656,254	329,798
営業外収益		
受取利息	2,775	2,680
受取配当金	339	408
受取賃貸料	36,829	20,324
その他	12,631	8,850
営業外収益合計	52,576	32,263
営業外費用		
支払利息	32,750	26,340
持分法による投資損失	17,521	5,315
不動産賃貸費用	43,435	17,310
その他	120	21
営業外費用合計	93,826	48,987
経常利益	615,003	313,073
特別利益		
貸倒引当金戻入額	595	12,023
固定資産売却益	304	11
投資有価証券売却益	59	—
役員退職慰労引当金戻入額	9,932	—
新株予約権戻入益	64	64
保険解約返戻金	5,008	—
受取補償金	11,203	—
特別利益合計	27,168	12,098
特別損失		
固定資産除却損	7,017	5,370
減損損失	64,295	—
リース債務解約損	397	—
店舗閉鎖損失	70,262	3,431
特別損失合計	141,973	8,801
税金等調整前四半期純利益	500,199	316,370
法人税等	258,141	156,615
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,898	1,450
四半期純利益	253,956	158,304

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	500,199	316,370
減価償却費	328,131	300,215
減損損失	64,295	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△11,743	△11,254
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,204	△26,792
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,186	14,101
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34,257	10,470
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△735	△12,023
受取利息及び受取配当金	△3,115	△3,088
支払利息	32,750	26,340
持分法による投資損益(△は益)	17,521	5,315
長期貸付金の家賃相殺額	36,817	30,824
固定資産売却損益(△は益)	△304	△11
固定資産除却損	7,017	5,370
売上債権の増減額(△は増加)	△10,764	3,438
たな卸資産の増減額(△は増加)	98,211	57,254
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△183,483	△58,575
仕入債務の増減額(△は減少)	111,720	△133,081
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△91,233	△90,981
その他	57,974	△7,863
小計	939,391	426,028
利息及び配当金の受取額	632	591
利息の支払額	△34,576	△28,527
法人税等の支払額	△32,483	△86,761
法人税等の還付額	33,394	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	906,358	311,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△27	△15
有形固定資産の取得による支出	△145,319	△106,038
有形固定資産の売却による収入	304	18,500
無形固定資産の取得による支出	△85,495	△104,158
差入保証金の差入による支出	△21,338	△28,744
差入保証金の回収による収入	39,117	26,511
長期貸付けによる支出	—	△10,412
その他	△4,660	1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,418	△202,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	△600,000
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△552,663	△483,430
自己株式の取得による支出	—	△4,558
配当金の支払額	△65,322	△87,754
リース債務の返済による支出	△103,636	△116,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761,621	△292,380
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,681	△184,033
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,023	1,016,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,235,342	832,247

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

	古本市場事業 (千円)	アイ・カフェ事業 (千円)	E C 事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	17,432,127	1,405,909	209,509	19,047,545	—	19,047,545
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,759	1,132	25,170	29,062	△29,062	—
計	17,434,886	1,407,041	234,679	19,076,608	△29,062	19,047,545
営業利益(△は営業損失)	1,106,239	35,523	△13,626	1,128,135	△471,881	656,254

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

	古本市場事業 (千円)	アイ・カフェ事業 (千円)	E C 事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	16,562,342	1,314,312	219,461	18,096,116	—	18,096,116
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,761	9,745	19,849	31,357	△31,357	—
計	16,564,103	1,324,058	239,310	18,127,473	△31,357	18,096,116
営業利益(△は営業損失)	773,578	54,231	10,686	838,496	△508,698	329,798

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売形態の種類を勘案して区分しております。

2. 各事業の内容

- (1)古本市場事業……………店頭でのリサイクル品の買取・販売及び新品の販売、その他雑貨の販売及びリサイクル品の卸売り
- (2)アイ・カフェ事業……飲食店・喫茶店の経営及びインターネットを利用した情報提供サービス並びにインターネット施設向けシステム販売及び加盟店運営サポート
- (3)E C 事業……………インターネットによるリサイクル品の買取・販売及び新品の販売

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。